2024年
くらし・経済・平和に
希望がもてる政治へ

-力をあわせがんばります-　日本共産党足立区議団

新年の抱負

「戦」「税」が過去2年間の「今年の漢字」でした。今年の漢字が「幸」といえるよう、戦争や貧困で苦しむ子どもをなくしたい、金権腐敗政治を一掃したい、くらし・経済に希望の持てる社会にしたい。がんばります！

区議団長　ぬかが和子

≪自宅≫足立区伊興1-5-3
電話（3854）7159

昨年は世界の平均気温が史上最高となりました。異常な高温は、災害だけでなく食糧確保にまで影響を及ぼしています。命より富を優先する社会のあり方の転換は急務です。「なによりいのち最優先」今年もがんばります。

幹事長　はたの昭彦

≪自宅≫足立区大谷田5-27-15-403
電話（5697）1960

「双子を育てている。全部二人分かかり負担は大変。生活が苦しい」いつも宣伝しているから電話してみた、と先日電話を受けました。「一人で悩んで涙ぐまなくて良いんだよ、相談してね」と伝え続けて良かった、と思う瞬間です。もっともっと区民と会話ができる２０２４年にしたいです。

副幹事長　山中ちえ子

≪事務所≫足立区花畑4-25-4三吉野ﾋﾞﾙ1階
電話（3860）7265

新年は、くらしに希望の持てる政治へ転換をめざします。物価高騰で区民の生活もぎりぎりまで追いつめられています。こんな時に介護保険料値上げは許せません。介護保険料値上げストップ。物価高騰支援を求めがんばります。

政策委員長　横田ゆう

≪事務所≫足立区西伊興4-8-21
電話（3855）1587

昨年６月に区政に送り出していただき、みなさんの声を届け、実現するため、議会や委員会で奮闘してきました。今年はもっと鋭く追及する力を身につけ、くらしまもる区政へ転換するため全力を尽くします！

区議会議員　小林ともよ

≪事務所≫足立区柳原2-4-1
電話（3870）4547

「学校給食完全無償化と介護保険料の値上げストップ、そして教師のブラックな働き方を変えたい！」これらを胸に、みなさんと共に奮闘する決意です！暮らしに希望のもてる２０２４年にしましょう。

区議会議員　西の原ゆま

≪事務所≫足立区江北3-6-10
電話（3856）5634

日本共産党
足立区議団ニュース

発行会派
日本共産党足立区議団

足立区中央本町1-17-1
足立区役所内

発行責任者　ぬかが和子
編集責任者　小林ともよ

2024年　第4回定例区議会報告　No.200

ご意見・ご要望・くらしの相談は区議団へ

区議団　03-3880-5770　Fax.03-3880-5682

足立区議団のメールアドレス　acmp@blue.ocn.ne.jp
足立区議団のホームページ　http://www.adachi-jcp.jp

2023年をふり返って

日本共産党 6名の区議団

５月の改選で６名のフレッシュな議員団が誕生。議会第3党としてスタートしました。「議員のいない地域の分もカバーしたい」との思いで力を合わせてきました。広く区民アンケートを行い声を届け、財政分析を行い「ためこんだ積立金は全国第4位の1818億円」「介護保険のお金を余らせながら23区で一番高い介護保険料をさらに値上げ」など告発したのも、７会派の中で日本共産党区議団だけでした。

６月　改選後、初の臨時議会後本会議場にて決意をかためあいました。

最大の公約であった「小学校給食の無償化」をついに実現しました。

「元気に楽しくやりたい」と、毎月第一日曜日に勢ぞろいして北千住駅西口での宣伝を始めました。

区民アンケートを16万世帯に配布。「このようなアンケートをやってくれるのは共産党だけ」「声なき声を聞いてもらえる」と好評でした。

自治体学校・若者のまちサミットなど様々な研修やワークショップに参加し学び、提案に生かしてきました。

全員が本会議で質問

「小学校給食費を即無償化へ
物価高に対しくらし応援を」
（6月代表質問　はたの区議）

「物価高騰に苦しむ
区内小規模事業者を本気で守れ!」
（6月一般質問　小林区議）

「住民の声が生きる
防災・まちづくり・福祉施策を！」
（9月代表質問　ぬかが区議）

「今こそ若い世代の支援を!」
（9月一般質問　西の原区議）

「経済停滞・災害多発時代に
命・暮らしを最大限守る!」
（12月代表質問　山中区議）

「介護保険料値上げストップ
はるかぜ3号の存続求める」
（12月一般質問　横田区議）

第4回定例会を終えて

1，バス路線など公共交通の課題

コミュニティバス「はるかぜ」は区民の移動を支え、高齢者の外出支援として大きな役割をはたしていますが、採算性や運転手不足により廃線・減便が繰り返されています。

今定例会では、多くの党が代表質問でとりあげましたが、何故このような事態になったのかを解明し、「区が公的責任をはたす」ことを強く求めたのは日本共産党だけでした。

23区の圧倒的多数の区は平成22年前後から自治体として地域公共交通を支える立場から財政支援をしてきましたが、足立区や自民党議員は、長年「はるかぜ」に一円も運行支援などを出さないことを誇ってきたのです。

区は「５年間減便しないこと」を条件に、やっと昨年からバス購入補助の実施に踏み切ったものの、「時すでに遅し」でした。はるかぜ運行事業者は、他区のコミュニティバスの運行もする中、長年にわたり信頼関係を築き支援してくれた自治体を優先するのは、企業としてありうることで、公共交通を支えるという役割を果たさず、事業者による独自事業とした足立区のあり方が、今日の事態をより深刻にしたのです。

ついに区は「足立区地域内交通導入サポート制度」の導入を表明しましたが、他区では「収支不足分を補助して一律１００円で運行」など運行補助をしている区が15区あり、区がバスを所有し責任をもって委託運行しているのが中央区・台東区・杉並区です。運営委託も含め自治体として地域公共交通を支える責任を果たすべきです。

2，「介護保険料値上げしないで」などの意見が674通

23区で一番高い介護保険料を更に大幅値上げする「中間報告」のパブリックコメント（意見募集）が行われ674人の意見がよせられました。通常届く意見は数名であり、区民の強い願いの顕れです。日本共産党区議団は、正面から「値上げすべきでない」と強く求め、３年間の介護保険会計で推計163億円も余らせてきたことを厳しく指摘し、値上げストップを求めました。保険料は2024年３月に決定します。

3，くらし応援に冷たく、新たなムダづかい

物価高騰が暮らしや営業に深刻な影響をもたらすなか、他の自治体が実施している「住民税課税者への支援策」「事業者支援」「インボイス対策」などを求めたところ、冷たく拒否をした区の姿勢は厳しく問われます。

ためこんだ積立金が全国第4位の1818億円に及ぶ中、新たなムダづかいが明らかになりました。

4，区民運動と連動して前進つくる

以上のように、日本共産党の議席があったからこそ、明らかになったことや区民の声をまっすぐに届けられたことが多数ありました。また「老朽化した公立保育園の改善」「不登校対策（特例私立校への独自支援）」など、区民の声と日本共産党の論戦が実り各分野で前進しました。

日本共産党区議団は、区民の運動と声に耳を傾けて尊重し、６人の力で区民の暮らしを守る区政を実現するために、力を合わせて奮闘する決意です。

第4回定例会の態度(委員会)

	区長提案の議案	区民の請願・陳情
自民・公明	100％賛成	0％賛成
共産党	62％賛成	80％賛成